

第29回 史料保存利用問題シンポジウム

裁判記録の現状と課題

—保存と公開体制の確立を—

日時：2024年6月22日(土) 13:30~17:30

会場：一橋大学東2号館2201教室（オンライン併用）

〈参加費無料／先着順受付〉オンライン参加者は事前申込／会場来場者は事前申込不要

事前申込はこちらから<<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZ0sd-2ppjorGt0R7QbeGaHNAa9dYf4eI5CP>>



総合司会：大橋 幸泰（日本学術会議会員 早稲田大学教授）

開会挨拶：若尾 政希（日本歴史学協会委員長）

報告

霍見真一郎（神戸新聞編集局報道部デスク兼論説委員兼編集委員）

紙と命—少年事件記録の廃棄問題—

湯上 良（昭和女子大学大学院准教授）

司法資料の保存と利活用に関する海外の状況

梅原 康嗣（国立公文書館業務課長）

国立公文書館における民事判決原本等の受入れについて

高埜 利彦（元日本学術会議会員 学習院大学名誉教授）

まとめと課題

パネルディスカッション

パネリスト：霍見真一郎／湯上 良／梅原 康嗣／高埜 利彦

司会：大友 一雄（日本歴史学協会国立公文書館特別委員会委員長）

佐藤 孝之（日本歴史学協会史料保存利用特別委員会委員長）

コメント 香室 結美（日本学術会議連携会員 熊本大学特任助教）

閉会挨拶：松本 直子（日本学術会議会員 岡山大学教授）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

日本学術会議史学委員会アーカイブズと社会に関する分科会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会